

ノーリフト通信 (第1号)

神奈川県立さがみ緑風園 リスクマネジメント委員会

持ち上げない介助で腰痛予防！

園内で腰痛を抱えている職員は
42%(n=108)！！※1

介護・看護の現場では、人を抱え上げるなどの腰に負担の生じる作業が、職員の腰痛、さらには労働力の低下につながり、**深刻な問題**となっています。

そこで、神奈川県では、介護・看護職員の負担軽減や利用者・患者に質の高いケアを提供するため、介護・看護の現場における腰痛予防対策の考え方である「**人の力のみで抱え上げない介護・看護**」の理念や技術の普及などを行う「**神奈川らしくらく介護宣言**」を平成27年6月に発表しています。



神奈川らしくらく介護宣言



～神奈川県は「人の力のみで抱え上げない介護・看護」を推進します～

1. 知ろう！

介護・看護現場の管理者に対し、「神奈川らしくらく介護宣言」の理念の普及・啓発を図ります。

2. 使おう！

新たに介護・看護の現場で役立つとされるロボット・機器の導入を進めます。

3. 学ぼう！

介護・看護職を中心とする保健医療福祉の専門職全般を対象に、人の力のみで抱え上げない介護・看護技術の普及を進めます。

☆☆次回以降のお知らせ☆☆

本通信紙は、「ノーリフト」をキーワードに季節ごとに発行していきます。

○ 今年度も10月27日園祭にて、ロボット体験キャラバン産業振興課による介護ロボット体験を企画しています！

○ 園内各ホームで実践している福祉用具や機器、技術を取り上げていきます！
次回発行は秋頃。皆様の経験と知識をお聞かせ下さい！！

※1:リハビリテーション科「引きずらない持ち上げない介護に向けた取り組み(2017)調査より」